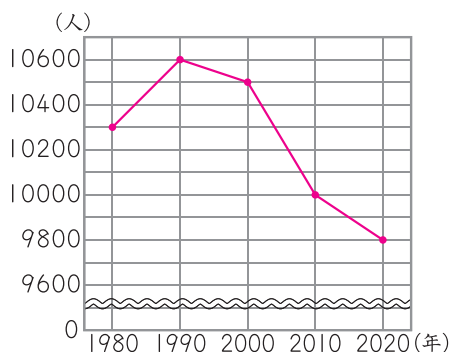


第1回

答え

1 ①



2 【例】 | 目もりのかんかくが大きくなって、変わり方がわかりやすくなること。

2 ① 三千七百七十六億 (円)

② 二兆五千億 (円)

考え方

1 ① 百の位までの概数にするので、十の位を四捨五入します。四捨五入して百の位までの概数にしたときに、10000になる整数のうち、いちばん小さい数…9950
いちばん大きい数…10049
を確認しておきましょう。

2 波線のしるしのよさを考える問題。算数の記号のよさを実感するのがねらいです。

波線のしるしがないと、0から9600までの目盛りを書くことになり大変です。また、限られた場所では | 目盛りの間隔が狭くなり (グラフの傾きが緩やかになり)、変わり方がわかりづらくなってしまいます。場所を広く取ったとしても、グラフが無駄に縦に長くなり、変わり方がわかりづらくなってしまいます。

説明ですが、「目もりをかくのがかんたんになること」「グラフをかきやすくなること」などでも正解です。

2 | 億より大きい数についての問題。

① まず、3776mが一万円札1000枚の厚さ10cmの何倍かを考えます。
 $3776m = 377600cm$
 $377600 \div 10 = 37760$
 より、37760倍です。

一万円札1000枚は1000万円だから、求める金額は、1000万円の37760倍、つまり3776億円です。

$$\begin{aligned} & 1000 / 0000 \\ \rightarrow & 3776 / 0000 / 0000 \\ & 37760 \text{ 倍} \end{aligned}$$

② まず、4万kmが16cmの何倍かを考えます。

4万km = 40億cm
 $40 \text{ 億} \div 16 = 2 \text{ 億} 5000 \text{ 万}$
 より、2億5000万倍です。

したがって、求める金額は1万円の2億5000万倍、つまり2兆5000億円です。

$$\begin{aligned} & 1 / 0000 \\ \rightarrow & 2 / 5000 / 0000 / 0000 \\ & 2 \text{ 億} 5000 \text{ 万倍} \end{aligned}$$

第2回

答え

1 13人

2 ① 9人

② 1人

考え方

① ベン図の説明を理解して、各部分が表す人数を読み取る問題。

① おにぎり、ジュースを選んだ人

② サンドイッチ、お茶を選んだ人

③ サンドイッチ、ジュースを選んだ人を表しているから、

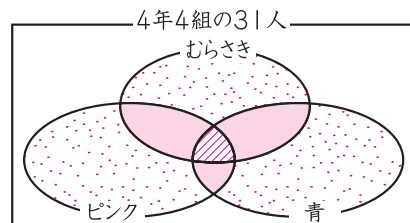
① $12 - 8 = 4$ (人)

② $14 - 8 = 6$ (人)

③ $31 - 8 - 4 - 6 = 13$ (人)

と求めることができます。

2 ① ベン図を使うと考えやすくなります。



上の図の色をつけた部分は、2色だけが好きな人を表すから14人。また、打点部分は、1色だけが好きな人を表すから8人。斜線部分は3色すべてが好きな人を表し、好きな色がない人はいないから、3色すべてが好きな人は、
 $31 - 14 - 8 = 9$ (人)

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!



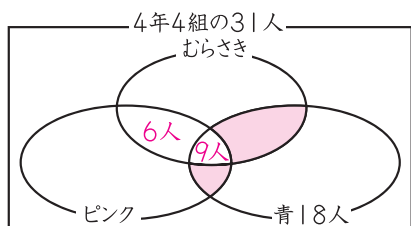
Z会の本



カッコいい小学生になろう

第3回

2 ①と同様にベン図を使います。



上の図の色をつけた部分が表す人数は、

$$14 - 6 = 8 \text{ (人)}$$

したがって、青の1色だけが好きな人は、

$$18 - 8 - 9 = 1 \text{ (人)}$$

答え

1 ①式 $6 \times 6 = 36 \quad 7 \times 6 = 42$
 $36 + 42 \times 4 = 204$

答え 204cm^2

2 ②式 $7 \times 4 + 6 = 34$

$$6 \times 34 = 204$$

答え 204cm^2

3 ③式 $7 \times 2 + 6 = 20 \quad 20 \times 20 = 400$

$$7 \times 7 = 49 \quad 49 \times 4 = 196$$

$$400 - 196 = 204$$

答え 204cm^2

2 【例】

①式 $6 \times 2 = 12 \quad 6 + 15 = 21$

$$12 \times 21 = 252$$

答え 252cm^2

②式 $6 \times 2 + 15 \times 2 = 42$

$$6 \times 42 = 252$$

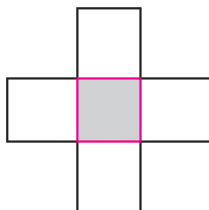
答え 252cm^2

考え方

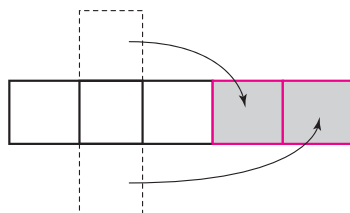
第23回は、面積をいろいろな方法で求めることができるようになるのがねらいです。楽しく学習できるように、国旗を題材にしました。なお、国旗の形には様々なものがあります。

1 えりさんの説明から、下のような図をかいて考えることがポイントです。

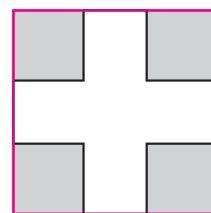
1



2



3



2 「答え」の①と②は、1つの長方形に変えて求めています。①は縦12cm、横21cmの長方形、②は縦6cm、横42cmの長方形です。

他には、2つの正方形と2つの長方形に分けて求めることもできます。式は次のようになります。

$$6 \times 6 = 36 \quad 6 \times 15 = 90$$

$$(36 + 90) \times 2 = 252$$

さらに、大きい長方形から、白い部分を除いて求めることもできます。白い部分を1つの長方形に変えると、式は次のようになります。

$$6 \times 3 + 2 + 15 = 35 \quad 2 \times 35 = 70$$

$$6 \times 2 + 2 = 14 \quad 6 + 2 + 15 = 23$$

$$14 \times 23 - 70 = 252$$

面積の問題は、図形の見方により計算量が大きく変わることがあります。普段の学習から「もっとよい方法がないか？」と考える習慣をつけたいですね。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本



カッコいい小学生になろう